

福山医療生協組合員活動ニュース

NO. 4 2021年 8月 16日 発行：福山医療生協 組織部

第1回食料&日用品無料広場を開催！（7月29日） “助かります。これで一息つけます。ありがとう”



みんなの家どんで、配食・喫茶・食事で活躍している、ボランティアさんと職員です。



寄付された食料品



利用風景



支部・組合員から寄付された、お米

第1回食料&日用品無料広場を、7月29日に、みんなの家どんで開催しました。

福山医療生協は、SDGs「誰も取り残さない社会の実現をめざして」の理念のもと、「1. 貧困をなくそう・2. 飢餓をゼロ・3. すべての人に健康と福祉を」に沿って、子どもを抱え支援を必要としている親世代や高齢者、若者、学生を対象に「広場」を開催することとしました。

困難が可視化していない中、来たくても来られない方のため、常設の「いつでも相談窓口」を設置して対応しています。

広報では、生協だより、民商新聞等へのチラシ折り込み、報道機関では、中国新聞が前日に紹介記事を掲載。福山大学、平成大学へは、ベトナム語、韓国語も表記したポスターの掲示をしていただきました。更に、社会福祉協議会、地域包括支援センター、労働基準監督署、延広教会、カトリック福山教会、聖イエス会福山教会、民生委員さんに申し入れを行い、外国の方が住んでいる寮やアパートにも外国語表記のチラシを配布しました。



当日、届けられた野菜



寄付された レトルト食品

当日のボランティアは14名で、接待のおむすび弁当100食をつくって頂きました。

物資を頂いたコープCSネットの小泉信司理事長と、県生協連の渡辺とおるさんが視察に来られました。日本医療福祉生協連のコムコム誌取材班も来福（コムコム11月号掲載予定）。のべ参加者は自宅届けを含め65件でした。その内、向陽町のIさんは、当日参加できない方のために7軒分を配布。他にも、近くの独り暮らしの方に届けて下さる方もいました。6人家族の方は、「子どもの食費がかさむので、お米が一番うれしい」。また、西支部役員さんから聞いて自転車で来られた高齢男性は、「助かります。これで一息付けます。ありがとう。」と喜ばれました。大腸がん健診のおすすめをしていた方が中国新聞を見て「あなたのところだと思って」と、お孫さん親子を連れて来てくれました。社協からの紹介で来られた男性は、冷蔵庫、電子レンジ、炊飯器が欲しいとの申し出があり、たすけあいの会で対応しています。町内会長にも覗いていただき、激励を受けました。

翌日には、当日来たベトナム人青年の知人で、専門学校に通うネパール人の女性2名が自転車で来ました。友人分を含め5人分の食料・日用品を持って帰りました「たすかりました。ありがとうございました。」と喜ばれました。

生活と健康を守る会やしあわせ居宅から支援を受け、生活・介護相談場所を設置しました。当日には相談はありませんでしたが、次の日に相談があり、対応しました。次回から、相談については流れを工夫することにしました。

アンケートでは、「友人知人から聞いた」が最も多く、次に「中国新聞」、「生協だより」でした。近所のスーパーに掲示したポスターや社協からの紹介もありました。困っていることでは、「コロナの影響で生活が苦しい。」「仕事を失うかもしれない。」「払うものの方が多い。」「食費がかさんで困る。医療費もかかる。」「コロナのせいでアルバイトの時間が少ない。」等、切実な声が寄せられました。

今回、いろいろな方からご指摘やご意見をいただきました。次回は、それらを踏まえ、より良いものにして行きたいと考えています。

最後に、広島県生協連から寄付5万円、グリーンコープ、コープCSネットから沢山の物資の寄付を受けました。また、福山医療生協から10万円、支部からカンパ29,531円やお米270kg、日用品を頂きました。当日、新聞を見た個人の方から、是非協力したいと連絡があり、すぐに10万円の寄付を持って来て頂きました。みなさま、ありがとうございました。



利用風景



公園で開催予定でしたが、気温上昇のため室内に変更



生活相談・介護相談場所を設置



30日に来た、ネパールの専門学校留学生2名（写真：右端、左端）が8月2日に友人2名を誘って4名で来てくれました。

次回のご案内

9月30日（木）9時～14時
みんなの家どんどん1階